

# 閑院宮邸跡



※車イスでのご利用も可能です。

この地図のうち、グレー部分を除いたところが公開ゾーンです。敷地は約11,400㎡あり、東門又は長屋門（北門）から出入りできます。

主屋は、中庭を囲む木造平屋建の四つの棟で構成されており、展示室のある南棟は書院造です。



## 庭園 1

敷地内東南に位置する園池は、大正4(1915)年の大正天皇即位大札に伴う整備により、一部が分断され形も変わりました。復元整備時の調査により州浜状の石敷きなどが確認され、宮家や公家が好む庭園様式を取り入れていることが分かりました。現在は、遺構を遺したまま、その上に緩やかな州浜を復元し当時の雰囲気醸し出しています。



## 庭園 2

調査によって、遣水や園池が確認されています。遣水は琵琶湖疎水から伸びた御所水道の末端水を使ったことが推察されます。明治25(1892)年の建築物であった所長官舎の跡地は、間取りを復元し、庭園との関係が分かるようにしています。



## 展示室

京都御苑に関する歴史と自然の情報を展示しています。出土品は京都迎賓館敷地の発掘調査で出土したものです。関連図書を備えたライブラリーコーナーもあります。



## 解説

スタッフが展示の解説をします。苑内の歴史や自然に関することについてもお気軽にお尋ねください。



## 床もみじ

秋には紅葉、春には新緑が床に映ります。

